

tictac

2024.2
vol.9

suikenのフリーペーパーができました

地暮愉暮 ちく+く

縁あって出会ったその地で、愉しく暮らし、時を刻む。

好きな色や好みの服が人それぞれ違うように、好きな空間の雰囲気も家の形も人それぞれ。同じsuikenの家でも、家に対する想いがそれぞれ違うように、住む人が違えばライフスタイルも時の刻み方も家それぞれ。そんなsuikenOB様の様々な暮らしの風景を毎回ご紹介します！そしてsuikenの“今”伝えたい旬な情報から、住まいに役立つちょっとしたアイデア、こまめなお手入れ方法など快適な生活情報を発信していきます。



S様邸

part9

暮らしの風景



山口市 時と共に・・・ 2022年2月完成

内と外で繋がる家族の時間

幹線道路から少し離れた住宅街の一角にあるS様邸。手入れの行き届いた植栽が訪問者を出迎えてくれる。

内と外とを境界線なく楽しみたいというご要望に応え、リビングの掃き出し窓からタイルデッキを通じ、プライベートのお庭へと動線は繋がる。広いタイルデッキは、ご主人の趣味であるキャンプや焚き火、ハンモックなどのアウトドアを楽しめる場でもあり、第二のリビングとしても活躍中。室内と室外、家族がそれぞれ好きな場所においても同じ景色を見て、一緒の時間を過ごしている感じがすると奥様。実は、アウトドア派のご主人とインドア派の奥様。打ち合わせ当初はご主人好みのテイストのお家になると想像されていた奥様だったが、完成したお家は奥様の好みにもフィットしていたそう。どちらかが我慢しているわけではなく、お互いの好みが共存されていて、きっと何年先も気に入って暮らせるお家になったと嬉しそうにお話されていた。

以前はお休みの日は家族で出かける事が多かったが、今ではお家で過ごす時間が増えたそう。リビングの窓から四季の移ろいを感じ、ゆっくりと流れる時間の中、一年を通して家族みんなで楽しむ、そんな生活を送られている。

無垢の床、漆喰の壁、柱や梁、造作家具の木材に囲まれて、夏涼しく冬暖かい空間で子どもたちが素足で自然体で走り回って遊ぶ・・・。経年劣化を楽しみながら、一年中快適な家で、子どもも私たちも大らかに過ごしたいというご家族の希望が叶ったS様邸だった。



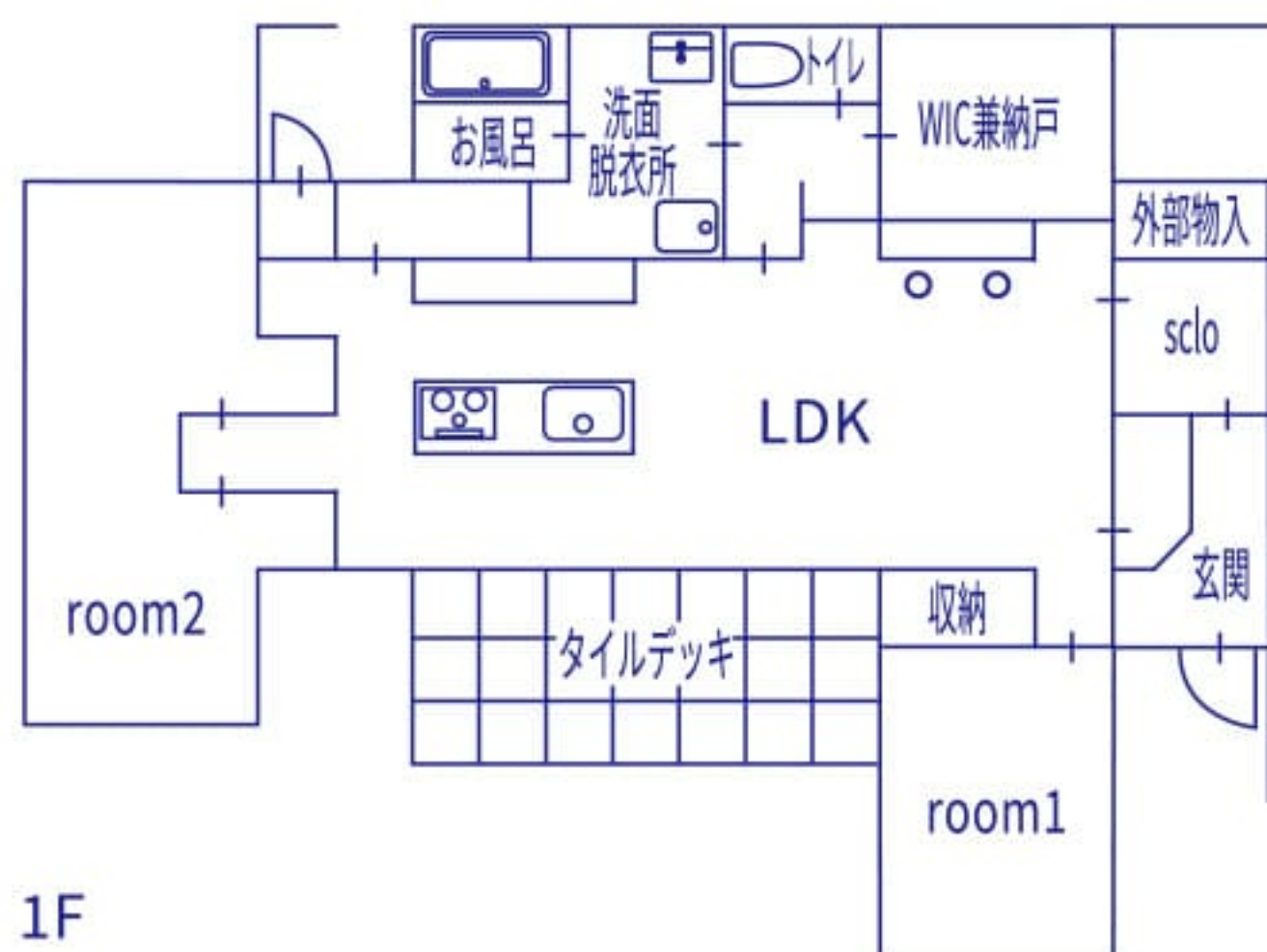


ご主人こだわりのタイルデッキ



インテリアとしても素敵なアクアリウム

内と外 窓越しに焚き火を楽しむ微笑ましい光景



1F

Q ご自慢のインテリアは？
 A 経年変化を楽しめる真鍮のアイテム達。特にトグルス イッチはカチツという音も心地よく、毎日照明をつけるたびに幸せな気持ちになります。

Q こだわったポイントをお聞かせください
 A ご主人：広いタイルデッキ。趣味のキャンプグッズの手入れをしたり、焚き火やバーベキュー、ハンモックを気軽に楽しめます。外にいなながらリビングの延長のような空間です。奥様：子ども達の作品を美術館のように飾りたいと思います。また、水回りのタイルもこだわって選んだのでお気に入りです。

Q 暮らしの中で好きなこと、好きなときは？
 A ゆっくりコーヒーを淹れてリビングの大きな窓からの四季の景色を楽しむとき。子どもたちと窓のそばの陽だまりでおままごとやお昼寝をするとき。

Q 音楽を聴きながら植物やアクアリウムのお世話。
 A ゆっくりコーヒーを淹れてリビングの大きな窓からの四季の景色を楽しむとき。子どもたちと窓のそばの陽だまりでおままごとやお昼寝をするとき。

オーナー様に質問

いざという時に備えて 災害対策はされていますか？ 普段からの備えが 災害時にあなたを助けます

2024年は年明け早々、石川県能登半島が最大震度7を観測する地震に見舞われました。未だ避難生活を余儀なくされている被災者の方々も多く、1日も早い復興を願うばかりです。避難生活において、ライフラインの断絶により問題となるのは「水の確保」です。中でもトイレの水が確保できずに困ったという声を多く耳にします。普段当たり前のように入っているトイレですが、災害による断水時に使用する場合は注意が必要です。各メーカーのホームページには災害時のトイレの使用方法について掲載されています。いざという時に慌てないよう日頃から確認しておくことが大切です！

一級建築士事務所

株式会社水建

758-0011 萩市椿東406番地10 Tel 0838-22-1268 Fax 0838-21-7404
Email info@suizu-hagi.com URL <http://www.suizu-hagi.com/>

2024年2月発行

こんにちは。事務担当の後藤です。私は昨年「防災士資格取得試験」に合格し、現在防災士認証登録申請中、防災士の卵です！

近年、大規模な自然災害が相次いでおり、甚大な被害も発生しています。私たち一人ひとりが、自然災害に対する正しい知識と必要な備え、そして心構えを持つことが重要となっています。この場をお借りして、身近な防災対策についてお伝えしていきます。

断水時のトイレの流し方



用意するもの

バケツ

- ①便座、便ふたを上げてください。
- ②バケツ1杯(6~8L程度)の水を、水跳ねに注意しながら「一気に、静かに」流し込んで汚物を排出します。
- ③さらに便器内の水位が通常の高さになるよう、3~4Lの水をゆっくりと注ぎます。

※排水管の途中に汚物が停滞することを防ぐため、2~3回に一度は、バケツ2杯程度(10~12L)の水を流してください。

※うまく汚物が流れない場合は、より早く(短時間に一気に)流し込んでください。



ご注意

- ・地震などの災害時に**排水管が壊れている場合**、水洗トイレを使うと汚水があふれたり、逆流したりする危険性があります。その場合は**トイレに水を流さない**でください。
- ・断水復旧後の使用上の注意として、**エアハンマー**という現象が起こる場合があります。この衝撃により器具が破損する事があります。詳しくは各メーカーのホームページをご覧ください。
- ・コンセント部分に水がかからないようご注意ください。
- ・オート便器洗浄機能、およびオート便座開閉機能がある場合は、オートを「切」にしてください。

携帯トイレや簡易トイレの備蓄を!

point!

備蓄として、最低3日分、できれば7日分があると安心です(家族3人、1人1日5回で計算すると1週間分は105回)。災害時のトイレの不安は心身ともに影響を及ぼしますので、多めに備蓄しておくことをおすすめします。

suiken